

## 他支部交流報告について

今年度、調査研修部では、少しでも多くの方が他支部交流に参加できるように選択肢をいくつか設け実施することとしました。アンケートの実施結果からでも、近隣が良いとか、なるべくたくさんの方が参加しやすい場所といった地理的条件などの意見が出ていたことのほか、連携会議などの内容を重視する意見も出ていたため、できるだけ沢山のご意見に沿った形で実施できればと考え、これらの条件をクリアするために3つ設定しました。

### ① ふらのフォーラム 2014 in 旭川

期日：8月1日（金）

会場：上川教育センター 第1研修室

参加者：6名

テーマ「学校間連携を問いかえす」

目的 貴重講演から直近の学校課題を捉え、改めて学校間連携での課題解決への道筋を探る

日程

10：00～10：20 受付・開会行事

10：20～11：20 講演 兵庫県立大学 教授 尾崎 公子さん

・テーマ「安部政権の教育改革－公教育はどのようにリモデルされるのか？」

11：30～12：30 シンポジウム

・テーマ「北海道から学校事務を考える」

・コーディネーター 尾崎 公子さん

・シンポジスト 名達 和俊さん（前北見市立光西中学校）

小島 康司さん（前千歳市立末広小学校）

久保 康文さん（南幌町立南幌小学校）

菅原 直樹さん（富良野市立山部中学校）

13：30～15：30 学校間連携交流

北見市・石狩市・富良野市各学校間連携会議からの提言を基に交流

### <報告>

シンポジウムでは、事務職員の「立ち位置」について活発な議論がありました。最近あまり聞かなくなった話題であったため、久しぶりに新鮮な気持ちになり、自分自身の身の周りにおける状況を見つめ直す機会となりました。

学校間連携交流では、北見市、富良野市など他の連携会議の現状報告を知る機会となり、今日における問題点や今後の課題が整理された内容となっており、各連携会議で抱える問題も様々であることがわかりました。

② 苫小牧市立拓進小学校

期日：10月3日（金）

参加者：7名

日程：15：00～16：45

- 1、 開会の言葉
- 2、 自己紹介
- 3、 日程確認
- 4、 実践交流
- 5、 校舎視察
- 6、 苫小牧市公立小中学校事務職員協議会 会長挨拶
- 7、 閉会の言葉

<報告>

石狩市の学校間連携会議の活動状況発表では、「2013の石狩市の学校間連携」の提言の部分等を活用して発表を行いました。苫小牧市の方では、拓進小学校の事務職員の方のほか協議会役員の方の2名が参加されていました。参加されていた3名の方のお話では、石狩市の学校間連携を参考にして苫小牧市の学校間連携を進めているということで、HPも良く見ているということでした。質疑応答でも沢山の質問等が出て時間がやや足りなかったのではないかと感じる程でした。

苫小牧市の方からは、胆振管内公立小中学校事務研究大会記録（ブロック研修）を活用した発表をしていただきました、市内の研修会には、市教委の担当の方に参加していただいたこともあったようで有意義な時間だったということでした。今後は市教委に対する要望事項や改善事項等を検討して、市教委担当者の方と交流を行うなど連携会議のあり方も更に良い方向へすすむのではないかとということでした。

校舎の視察では、最近建築されただけあり、災害時に避難場所に指定されている学校らしく、特別支援学級で使用しているプレイルームでは、災害時にも電話が使用できるようになっていました。また、視聴覚室と図書室がドア1枚で隣合っており、廊下を通らずに行き来出来る作りになっていました。授業などで調べ学習の際に動線がスムーズになっていて工夫された作りになっていたのが印象的でした。体育館がLEDなのも最近の校舎らしく感じました。



体育館のLED



図書室（この隣に視聴覚室がありました）



特別支援学級の教室



視聴覚室  
(右手前にドアがあり図書室につながる)

③ 札幌市立上野幌小学校

期日：11月11日（火）

参加者：7名

日程：15：00～16：30

- 1、開会の言葉
- 2、自己紹介
- 3、日程確認
- 4、実践交流
  - ・上野幌小学校の情報発信について
- 5、校舎視察（地区センター等含む）
- 6、連携会議事務局次長 挨拶
- 7、閉会の言葉

<報告>

実践交流の情報発信の部分について主に交流を行いました。実際は、交流というより米倉さんの実践についてお話しを伺う形となりました。HPの更新についてや、掲示板を活用した情報発信の方法や、事務だよりなどあらゆる方法で情報発信を行っていました。

HPについては、原則毎日更新ということで、1日7～8回位更新を行っているとのことでした。事務職員が担当している部分は、給食紹介、行事日程の更新、事務室からのおたより等で、修学旅行や遠足などの行事の時は、リアルタイムで行事の様子の撮影した写真をアップしているとのことでした。引率している職員がスマホで撮影し、米倉さんの職場のPCに送信してもらっているそうです。事務室からのおたよりの部分については、保護者や地域向けに情報発信をするためにスタート。内容は、開放図書や児童図書、教材の紹介、就学援助の連絡や工事等についてとのことでした。この他にも情報発信ができないか模索中ということでした。

掲示板については、今年度からスタートしたとりくみだそうです。「物を大切にしてほしい」という願いや「エコ」の観点からみた紙面づくりで作成しているそうです。当初は、児童・保護者向けのつもりでしたが、職員にも興味をもって見てもらっていることがわかったということでした。

事務だよりについては、職員向けに毎月発行。

校舎の視察については、1階にはミニ児童会館、4階には地区センターがあるので、その部分も見せていただきました。防火扉のような重い扉で鍵がかかるしくみになっていました。場所によって学校の予算で修繕を行うところと、そうでないところがあり少しばかりではありますが、煩雑さを感じずにはられませんでした。

また、廊下のいたるところには、お手製の折り畳みの長机があり、視察に参加した方の学校では早速、同じようなものを作りはじめるところだという学校もあります。

情報発信のとりくみのほか、校舎視察でも地域のための開放スペースという数少ない例の部分を見せてもらったり、折り畳みの長机も見ることができ、大変収穫のある視察だったと思いました。



掲示板のとりくみ①  
学校で購入した備品の紹介



掲示板のとりくみ②  
エコの観点から「電気代について」



1階にあるミニ児童会館



廊下で発見！お手製の折り畳み長机